医療法人勝又 高台病院 広報誌

ふれあい通信 9月号

Vol.36　発行：地域医療連携室

まだまだ暑い日が続いていますが、朝夕には少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。夏の疲れが出やすい時期でもありますので、体調の変化に気を配りながら、心身ともに健やかに過ごしていきたいものです。
季節の変わり目ですので、皆様もどうぞお身体を大切にお過ごしください。

リハビリテーション科のご紹介

当院のリハビリテーション科では、病院理念である「生きるを全力で支える」という思いを大切にし、患者様がその人らしく過ごせるよう、日々の生活を支えています。
私たちが大切にしているのは、次の４つです。

1 入院後、できるだけ早くリハビリを開始

急性期病院からの転院や、ご自宅・施設からの入院後も、患者様の状態に合わせて無理なくリハビリを進めます。



2 ベッドから離れて過ごす時間を大切に

安全に起きて、食事や車いすで過ごすなど、日中の活動を増やすことを支援します。



3 退院後の生活を見据えた支援

「家に帰りたい」「施設で安心して暮らしたい」など、ご本人・ご家族の希望に寄り添い、退院後の生活を見据えた支援を行います。



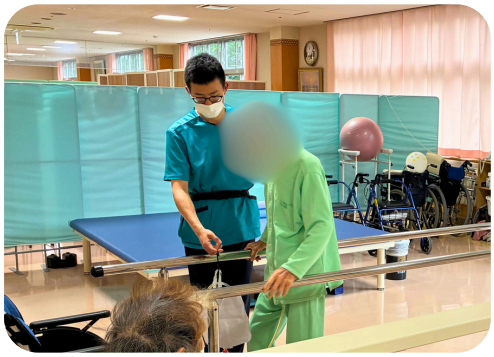
4 「食べたい」を支える、私たちの取り組み

患者さまの「食べたい」という想いに寄り添い、安心して食べる喜びを感じていただけるよう、一人ひとりに合わせた支援を大切にしています。




嚥下訓練


筋力強化


歩行訓練

リハビリは、歩く練習や身体を動かすだけではありません。「食べる」「話す」「座って過ごす」など、毎日の生活を支えることも大切な役割です。これからも患者様一人ひとりの思いを大切にし、多職種と協力しながら、安心してその人らしく過ごせるよう支援してまいります。

高台病院 リハビリテーション科 職員一同



CUCアワード2026 エクセレントチーム賞受賞！

当院では褥瘡を予防する「褥瘡ゼロ推進チーム」を作り活動を行っています。
8月に行われた「CUCパートナーズアワード2026」において、この活動を発表した高台病院の褥瘡ゼロ推進チーム「つるりん」代表・川村師長が「エクセレントチーム賞」を受賞しました。

「褥瘡（じょくそう）」はいわゆる「床ずれ」のことで、皮膚が長時間圧迫されることによって発生する傷です。当院では褥瘡を防ぐため、体位変換や皮膚の保湿、十分な栄養管理といった日々のケアを徹底しています。

さらに、定期的な研修を通じて褥瘡予防の知識を深め合うほか、マットレスやクッション、保護材料などの見直しも実施。患者さんにより快適な療養生活を送っていただけるよう、多職種が連携して予防とケアの向上に取り組んでいます。

こうした取り組みをチーム「つるりん」が中心となって全職員で推進した結果、褥瘡発生率「0.015%」という数字を達成いたしました。これは全国平均の0.15%と比較しても、極めて低い水準です。

私たちはこれからも「褥瘡ゼロ！」を目指し、患者さんが安心して過ごせるよう、よりよいケアの提供に努めてまいります。



職員みんなで「スイカを食べよう！」



暑い夏を元気に乗り切ろうと、職員向けに「スイカを食べよう」イベントを開催しました。

みずみずしく甘いスイカを囲み、職員同士で楽しいひとときを過ごしました。普段は忙しく働く職員にとって、ちょっとしたリフレッシュの時間となりました。

職員が元気に笑顔で働くことも、患者さまへのより良いケアにつながります。これからも職員同士の交流を大切にしながら、明るく温かな病院づくりを目指していきます。





医療法人 勝又
高台病院
神奈川県足柄上郡開成町金井島1983番地
TEL.0465-83-5015
全病床：310床（すべて療養病床、うち透析10床）

小田急線「新松田駅」から
無料の送迎バスが定時運行しております
東名高速・大井松田インターより車で約10分

広報誌「ふれあい通信」第36号
【企画・編集・発行】地域医療連携室、高台病院広報委員会
【発行日】2026年9月1日

公式HP　Instagram